平成 25 年 1 月 22 日

各　位

会　社　名　スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名　代表取締役社長　阿部　修平
（JASDAQ コード番号:8739）
問い合わせ先　取締役　藤井　幹雄
電話番号　03-6711-9100

日本ペイント株式会社株式に対する大規模買付に関する提案書等の提出と当社グループの関係に係るお知らせ

昨日、日本ペイント株式会社（コード番号：4612　東証・大証・名証各第一部。以下、「日本ペイント社」）の株式の取得に関し、香港籍の Nipsea International Limited（以下、「NIL 社」）が、日本ペイント社に対して大規模買付に関する提案書等（以下、「本件買付意向」）を提出しております。当社国内子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、「SAM 社」）は NIL 社との間で締結した契約に基づき、従前より本件買付意向の作成に協力してきましたが、今後も本件買付意向の具体化と日本ペイント社の長期的な企業価値向上につき、NIL 社に対しアドバイザリー・サービスを提供してまいりますので、これをお知らせいたします。

なお、ご参考までに、NIL 社の公表した内容を別添いたします。

NIL 社による本件買付意向の趣旨は、当社グループが従前より取組んでおります投資対象会社の経営陣との対話・協働を通じての長期的な投資リターン実現を目指す運用と、基本理念において同一であります。SAM 社（代表取締役社長阿部修平）の有するノウハウと経験を NIL 社に提供し、本件買付意向の実現に貢献してまいる所存です。なお、本件買付意向の具体化は、NIL 社自身の資金調達によるものであり、当社グループが投資顧問契約又は投資一任契約等を締結している運用資産や当社グループ自身の資金によるものではありません。

本件買付意向の実現は、アジアでのパートナーシップを深化させることにより、自身が有する技術力、生産力、ブランド力等にアジアの成長を取り込み、新たな成長ステージへと脱皮するという新たな価値向上モデルを、日本企業に提供するものになると当社グループは認識しております。当社グループは、今後、この価値向上モデルをパッケージ化した魅力ある投資戦略を国内外の投資家に対して提供することにより、投資家の期待に応えてまいる所存です。

以上

【別添】

平成 25 年 1 月 21 日

各位

会社名　　ニプシー・インターナショナル・リミテッド
代表者名　取締役会長　ゴー・ハップジン

日本ペイント株式会社株式に対する大規模買付けに関する提案書提出のお知らせ

ニプシー・インターナショナル・リミテッド（Nipsea International Limited。本社香港。以下「NIL」といいます。）は、日本ペイント株式会社（コード番号：4612　東証・大証・名証各第一部、以下、「日本ペイント」といいます。）の株式に対する大規模買付け（以下、「本件買付け」といいます。）にあたり、日本ペイントの「当社株式の大規模買付行為に関する対応方針（買収防衛策）」に従い、本日、日本ペイント取締役会宛てに本件買付けに関する提案書及び大規模買付ルール遵守表明書を提出いたしました。

１．買付者

買付者である NIL は、ウットラム・グループの 100%子会社です。ウットラム・グループは、約 50 年にわたり日本ペイントの国内外におけるビジネス・パートナーとして、アジアの 14 カ国及び日本において、日本ペイントとの間の合弁会社（但し、インドネシアにおいてはウットラム・グループの 100%子会社）を通じて塗料関連事業を行ってきました。2008 年来、ウットラム・グループを構成するファースト・インダストリーズ・コープ（First Industries Corp.。以下「FIC」といいます。）は、日本ペイントの株式を議決権ベースで約 14.60%保有する同社の筆頭株主となっています。NIL の買付提案は、後述のとおり、日本ペイント株式 80,000,000 株（総議決権の約 30.33%に相当）の取得を目指すものです。ウットラム・グループは、シンガポール国籍のゴー・ハップジン氏（以下「ゴー氏」といいます。）を中心とする同氏の親族が所有する企業群です。（併せて別紙１をご参照ください。）

２．本件買付けの目的

日本ペイントは、中期経営計画（「サバイバル・チャレンジ」）の下、「成長に向けたグローバル事業拡大」を掲げ、すでに完了した Stage Ⅰ では主に日本でのコスト削減努力を達成、２０１２年からの Stage II では「成長企業への転換」を、さらに２０１５年以降の StageIII では「世界のトップメーカーと肩を並べる」ことを目標に掲げています。今後もアジアの成長を日本ペイントグループの業績にしっかりと取り込んでいくことの重要性は、

日本ペイントとゴー氏との間での共通認識であると考えております。

３０年余りの国内外での合弁事業における経験を通じ、ゴー氏は日本ペイントの高い技術力に尊敬の念を抱くようになりました。日本ペイントの技術力は間違いなく世界でも最高レベルの水準にあり、おそらくは世界一であると高く評価をしています。日本ペイントの可能性を強く信じています。企業文化をより良い方向に変革しさえすれば、日本ペイントが世界の塗料業界の頂点に立つのも時間の問題です。

日本ペイントがより高い成長でその可能性をフルに実現するためには、“Growth Hungry”（積極的な成長志向）でリスクを果敢にとり、様々な財務戦略を駆使する必要があります。リスクを恐れず、且つ、リスクをコントロールしつつ、日本ペイントが効率性とシナジー効果を求め、国内外での企業買収を行うことを視野に入れています。そのためには今後５ないし１０年間の間に大幅な資本増強が必要だと考えています。

３．本件買付けの概要

NIL は本件買付けにおいて、日本ペイントの普通株式を、80,000,000 株（総議決権の約 30.33%に相当）を取得することを目指して、取締役会評価期間の経過後本件買付けが可能となった時点から 1 年間の期間内に、市場での買付け、公開買付けなど関係法令に従った方法による買付けを予定しております。

NIL が日本ペイントの発行済み普通株式 80,000,000 株を買い付けるに至った場合、NIL の保有株式総数は、NIL の関連会社である FIC が既に保有している日本ペイント普通株式 38,516,000 株（総議決権の約 14.60%に相当）と合算して、118,516,000 株（総議決権の約 44.94%に相当）となります。

本件買付けにおいて公開買付けを行う場合における買付けの対価は、現時点において、1 株当たり 900 円とすることを想定しております。

なお、この想定価格は、あくまで公開買付けを行う場合の買付価格として想定しているものであり、本件買付けの一部又は全部を市場での買付けによる場合、その買付けは市場価格によることとなります。

４．本件買付けに関するアドバイザーその他の関係者

投資アドバイザー：　スパークス・アセット・マネジメント株式会社

法務アドバイザー：　長島・大野・常松法律事務所

５．日本国内における本件に関する問合せ先

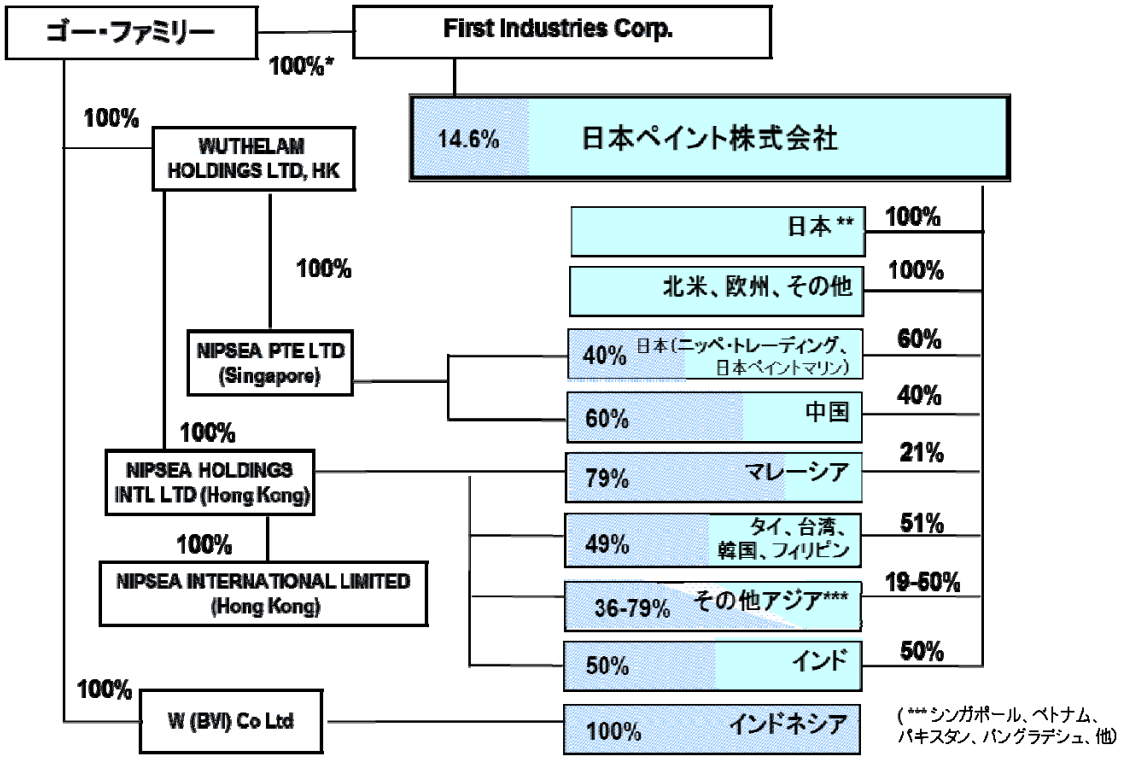
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

広報・IR 担当　コーポレート本部長　　峰松 洋志

電話：03-6711-9200（代表）FAX：03-6711-9201（代表）
メールアドレス：InvestorRelations@sparxgroup.com

以上

別紙１



*ゴー・ファミリーのFICの保有については、一部について100%保有するインドネシア法人を経由した間接所有。
**ニッペ・トレーディング及び日本ペイントマリンを除く。